



小学部

はじめてのスケート教室、楽しかったよ！



幼稚部

おわかれ会 ～ゆり組さん、ありがとう～



高等部

児童生徒総会 ～今年度の活動報告～



中学部

下北手中交流「百人一首大会」決まり字で払い！

無花果

No.188
 令和4年3月10日発行
 発行 秋田県立聴覚支援学校
 秋田市南ヶ丘一丁目1番1号

「つながりのある教育」のために

校長 新井敏彦



これは、本校の教育プラン三つの柱のうちの一つです。この内容としては、乳幼児教室や校外での実習などがあげられています。また、交流及び共同学習もあげられています。今年度とてもよい活動がありました。高等部修学旅行は、二・三年生合同で、秋田県内をめぐる旅行となりました。この旅行では、体験活動などいろいろな方々と出会いましたが、十和田高校ボランティア部のみなさんからは、世界文化遺産である大湯環状列石のガイドをしていただきました。同年代の生徒ととてもよい出会いとなりました。

また、昨年十二月には、ICT活用推進モデル校公開研究会を行いました。当日は、小学部、寄宿舎、支援部が、授業公開や実践紹介をしました。公開研究会のテーマは、「特別支援学校におけるICT活用の展望」でした。パネルディスカッションの横手支援学校と福島県立聴覚支援学校の実践報告などから、教職員全員でICT活用について学びました。そして、子どもたちにとっては、ICTを活用しているいろいろな人や学校とつながる機会が増えた一年となりました。

本校のカリキュラム・マネジメントの取組の一つとして、全教職員で校内体制改編プロジェクトに取り組みしました。今年度は、本校の魅力や良さ、強みについて話し合いました。そして、「聴覚障害教育の専門性」が、本校の大きな魅力であることを改めて確認しました。学校説明会では、これまでの資料を見直し、参加者にとって分かりやすく、本校の魅力や良さ、強みをお伝えしたところ、参加した児童生徒や保護者に本校を選んでいただき、たいへんうれしく思います。

一方で、この春、高等部や幼稚部などを卒業・修了する幼児児童生徒は、本校を巣立っていくこととなります。本校は、それぞれの地域で学ぶ子どもたちや保護者、先生方を支える「きこえとことば支援センター」のある聴覚障害教育のセンター校です。これからも、ぜひ「つながり」を大事にしていきましょう。本校を巣立つみなさん、卒業・修了おめでとうございます。そして、聴覚支援学校は来年度、学校創立百十周年を迎えます。



祝 修了・卒業

幼稚園

大好きな友達

幼稚園ゆり組担任 神 美穂子

大滝侑以子

友達が大好き、幼稚園が大好きな仲良し四人組。ふざけたり、時にはケンカもしたりするけれど、最後はいつも笑い合っている、とっても可愛い四人組。

ゆり組になって驚いたこと。いつのまにか年下の友達を優しく気遣う姿が見られるようになったこと。「こっちだよ」と友達の手を優しく引いたり、「だいじょうぶ?」と心配をしたり、お兄さんお姉さんとしての気持ちの成長がとても嬉しかったです。たくさん遊んでたくさん経験して積み重ねたパワーが、一気に溢れ出した一年でしたね。

四月からはみんな別々の小学校に進みます。幼稚園で一緒に過ごした時間は大切な宝物。それぞれの場所で元氣いっぱい過ごせるよう、心から応援しています。



ずっと友達

高等部

「修利さん」

高等部三年一組担任 豊嶋 桐夏

しゅうちゃん、修利くん、修利さん、安田さん。学年が上がるにつれ、呼び方は変わりましたが、たくさん名前を呼んでもらいましたね。一緒にいると声をかけてくれる人が実に多くいることに気付かされました。ご両親がつけてくれた素敵な名前。これからも多くの方々に呼んでもらえますように。ご卒業おめでとうございます。

◇安田 修利

小学部から高等部まで十二年間ありますが、学校を卒業してがんばります。

小さなことを少しずつ

高等部三年二組担任 赤平 成美

高等部の三年間を通して、二人に成長が見られ嬉しく思います。『信頼蓄積理論』の考え方から、社会人は『当たり前』のことをしっかりやる、小さな気遣いを行うことが最も大切になります。簡単のように聞こえますが、実は難しいことです。その積み重ねを少しずつ続けていくことで、将来大きな財産になるはずです。今後のさらなる成長を期待しています。

◇門脇 紗南

修学旅行で、同級生や後輩と一緒に楽しんだディナーが一番思い出に残っています。友達とたわいもない話をしながら三年間を過ごしたことが、私にとってかけがえのない宝物です。

◇松本 拓己

コロナ禍で様々なことに制限があり

でしたが、後輩と修学旅行に行くことができて嬉しかったです。仲間と共に学んだりふざけ合ったりした日々は、とても充実した忘れられない思い出です。



祝 卒業

修了生・卒業生一覧

【幼稚園修了】

鎌田 志織
東海林 ななみ
沼田 咲良
松井 柊弥

【高等部卒業】

普通科 安田 修利
産業技術科 門脇 紗南
情報デザイン科 松本 拓己

学部の行事コーナー

幼稚園部

心の鬼を退治したよ

菅原 奈緒

二月一日、幼稚園で豆まきをしました。「いやいや鬼」「なきむし鬼」など、自分の心の鬼を退治すべく、世界に一つだけの手作り柘を首から掛けて、幼稚部ホールへ出発！最初は、自分で描いた鬼の絵に向かって豆まきをしていると・・・ドンドンドン！大太鼓の音が響き、青鬼と黒鬼が登場。あまりの迫力に泣き出す子が続出でしたが、泣きながらも「おにはそと、ふくはうち！」と大きな声で叫び、一生懸命に豆をまきました。子どもたちの頑張り、鬼は怖じ気づいてこっそり逃げていきました。あゝ怖かった、でももう大丈夫。お守りと、歳の数の豆をもらおうと、ようやく少しほっとした表情を見せた子どもたちでした。



小学部

たのしかった体験学習

伊藤 直美

今年のまんならめ体験学習は、二年生は日帰りで二日間、四年生は、はじめての宿泊体験をしました。一日目は、松ぼっくり工作とオリエンテーリングを行いました。まんならめの森の中に隠されたカードを、澄んだ空気の中、みんなで協力して探しました。

二日目は、ザブーンに行きました。久々のプールにみんな大喜びで、時間いっぱい楽しんできました。四年生はドキドキわくわくの宿泊体験でしたが、「自分のことは自分で」を合い言葉に、ベトナムイキングや荷物整理を頑張りました。入浴時は、他学部の先生や校長先生もお手伝いに来てくださり、友達や先生と過ごす特別な夜を満喫してきました。



中学部

初めまして！オンライン交流

加賀谷 衿子

一月二十六日、宮城県立聴覚支援学校中学部一年生四名とオンラインで交流しました。内容は、自己紹介、学校紹介、クイズ、ジェスチャーゲームです。相手に伝わるように、上半身全体が映っているか画面を確認したり、問題の答えを文字で提示したり、工夫してやり取りをしました。

交流後の振り返りでは、「あつという間に終わってしまったと思うほど楽しかった」「ジェスチャーゲームで出した問題『ペンギン』を当ててくれてうれしかった」という感想が聞かれました。同年代の和気あいあいとした雰囲気を感じながら、画面を通じて新しい仲間と知り合うことができました。



高等部

弁論大会！思いを言葉に！

煙山 明美

今年も十一人の弁士たちが、自分の思いを自分なりの表現で発表しました。高等部では毎年、弁論大会を行なっています。八百字に具体的なエピソードを組み入れ、自分の気持ちや考えの変化を文章化していきます。しっかりと自分の思いが伝わるように言葉を選び、推敲を重ねて書き上げた原稿は、生徒一人一人の個性が光る内容でした。

当日は、保護者の方も聴衆として出席してくださいました。緊張した面持ちで演台に立った生徒たちですが、豊かな手話表現と強弱のある話し方で聴衆に伝えました。自分と向き合い言葉にすることで、自己を知り、仲間のことを知る機会となりました。



寄宿舎から

秋田大学手話サークルとの交流

豊嶋 新二

秋田大学手話サークルとの交流を「Zoom」を使ってリモートで実施しました。昨年度は新型コロナウイルス対策のため実施できなかったのですが、二年振りとなります。当日は、寄宿舎生六名、大学生七名が参加し、それぞれの自己紹介とレクリエーションの「絵しりとり」を行いました。最初はお互いに緊張した様子でしたが、徐々に打ち解け、お互いに身振りや反応を大きくしたり、ゆっくり手話をしたりと、相手への伝わりやすさを意識して関わりながら交流を楽しむ様子が見られました。貴重な機会となっていますので、今後も交流を重ねていきたいと思えます。



乳幼児・幼児教育相談について

乳幼児・幼児教育相談担当 佐藤 操

新型コロナウイルスの感染防止に努めながら、今年度も乳幼児・幼児教育相談を行っています。今年度は〇〇二歳児の乳幼児教室に十名、三〇五歳児の幼児教育相談に十二名が、全県各地から定期的に來校しています。

乳幼児教室で月一回土曜日に行っている「合同保育」では、親子ではふれあい遊びや制作活動、十二月にはクリスマスパーティーなど、毎回四〇五家族十五名ほどが集まって楽しい時間を過ごすことができます。全県に点在する難聴児のご家族が出会う場として、今後も継続実施していきたいと考えています。



合同保育で、みんなで歌を歌いました。



サンタさんにビックリ！

先輩と語る会

PTA副会長 島山 マミ

十二月のPTA研修会は、平成二十九年年度に高等部専攻科を修了された佐々木廉さんにオンラインで講演していただきました。

就職に至るまでの過程の説明や、「責任をもつ」ことへ繋がる行動が学校生活の中にもあるというアドバイスのほか、「異なる職種を体験し自分に合った仕事を見つけること」というお話は、就職を考える後輩たちへのエールにも聞こえました。

コロナ禍ではありますが、自分に合う仕事を見出せることを願うばかりです。この日のために、準備や時間をとってくださいました。佐々木さん、ありがとうございました。



ニュース・トピックス

◎令和三年度 学校賞
文化賞 高等部三年 松本 拓巳

◎第二十回 秋田県障害者技能競技大会
ワード・プロセッサ部門
金賞 高等部三年 松本 拓巳

松本さんは、十二月に東京で行われた全国障害者技能競技大会（アビリンピック）、ワード・プロセッサ部門に、秋田県代表として出場しました。

◎令和三年度 明るい選挙啓発ポスターコンクール
佳作 高等部一年 鈴木陽心哉

お知らせ

日頃よりベルマーク収集活動へのご協力ありがとうございます。引き続き活動中ですので、担任へご提出くださいますようお願いいたします。
※ベルマークを切り取る際は番号や点数がわかるよう、余裕を持って切ってください。



編集後記

春の息吹が感じられる頃となりました。修了生、卒業生のみならず、おめでとうございます。これまで学んだことを生かし、自信をもって新たな一歩を踏み出してください。今後のさらなる成長をお祈りいたします。来年度も、本校へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。